

職業実践専門課程の基本情報について

| 学校名 | | 設置認可年月日 | 校長名 | | 所在地 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|---|---|--------------|------------------|---|-------|----|--------|---|------|------|---------------|---|-----|-----|----------------|---|-----|-----|-----------------------|---|-----|-----|------------|---|
| 札幌ブライダルアンドホテル観光専門学校 | | 平成20年11月12日 | 藤田 高峰 | | 〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西9丁目1-11 (電話) 011-232-3334 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設置者名 | | 設立認可年月日 | 代表者名 | | 所在地 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学校法人三幸学園 | | 昭和60年3月8日 | 昼間 一彦 | | 〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-9641 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 分野 | 認定課程名 | 認定学科名 | | | 専門士 | 高度専門士 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 商業実務 | 商業実務専門課程 | ウェディングプランナー科 | | | 平成23年文部科学省 告示第166号 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学科の目的 | 「世の中の困難を希望に変える」をミッションとし、学校教育法に基づき、ブライダル業界の関連分野において、活躍する人材を育成する為、必要とされる知識と技能を教授することを目的とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 認定年月日 | 平成28年2月19日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年 | 昼間 | 62 | 64 | 65 | 10 | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生徒総定員 | | 生徒実員 | 留学生数(生徒実員の内) | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 120人 | | 124人 | 0人 | 5人 | 18人 | 23人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学期制度 | ■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日 | | | 成績評価 | ■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 評価は5点法 評価方法は期末試験という形態ではなく、授業内評価 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 長期休み | ■学年始:4月1日～4月9日 ■夏 季:7月22日～8月27日 ■冬 季:12月23日～1月9日 ■学年末:2月17日～3月31日 | | | 卒業・進級条件 | 所定の修業年限以上在籍し、所定の単位時間数の単位を取得した者について進級・卒業認定 科目の認定基準は、学年評定2以上、3分の2出席 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学修支援等 | ■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 入学前相談会、スターアッププログラム、学校生活ガイダンス、個人面談、未来デザインプログラム | | | 課外活動 | ■課外活動の種類 企業インターンシップ、海外研修、カタリバ 等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 就職等の状況※2 | ■主な就職先・業界等(平成29年度卒業生) ホテル、結婚式場、レストラン、ドレスショップ、フォトスタジオ等 | | | 主な学修成果(資格・検定等)※3 | ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ■就職指導内容 身だしなみ指導、履歴書添削、筆記試験対策、グループディスカッション指導、面接指導、ビジネス文書 | | | | <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レストランサービス技能検定</td> <td>②</td> <td>14人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>ブライダルプランナー検定2級</td> <td>③</td> <td>34人</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>アシスタントブライダルコーディネーター検定</td> <td>③</td> <td>47人</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>パソコン技能検定3級</td> <td>③</td> <td>60人</td> <td>49人</td> </tr> </tbody> </table> | | | 資格・検定名 | 種 | 受験者数 | 合格者数 | レストランサービス技能検定 | ② | 14人 | 13人 | ブライダルプランナー検定2級 | ③ | 34人 | 32人 | アシスタントブライダルコーディネーター検定 | ③ | 47人 | 38人 | パソコン技能検定3級 | ③ |
| 資格・検定名 | 種 | 受験者数 | 合格者数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| レストランサービス技能検定 | ② | 14人 | 13人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ブライダルプランナー検定2級 | ③ | 34人 | 32人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アシスタントブライダルコーディネーター検定 | ③ | 47人 | 38人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| パソコン技能検定3級 | ③ | 60人 | 49人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 就職等の状況※2 | | ■卒業生数: 50人 ■就職希望者数: 49人 ■就職者数: 47人 ■就職率: 96% ■卒業生に占める就職者の割合: 94% | | | ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中途退学の現状 | | ■中途退学者: 5名 平成29年4月1日時点において、在学者123名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者118名(平成30年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更、目標喪失 | | | ■中退率: 4.1% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 経済的支援制度 | | ■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 ・特待生試験による授業料免除制度(年間5万円・10万円・20万円・30万円・50万円) ・三幸学園経済支援制度: 在学中の授業料が1/4の返済不要の給付型奨学金 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 給付実績者数: 0名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第三者による学校評価 | | ■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 当該学科のホームページURL | | http://www.sanko.ac.jp/sapporo-bridal/ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(留意事項)

- 公表年月日(※1)
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください
- 就職等の状況(※2)
「就職」及び「卒業生に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。
(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。
③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。
※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学部、歯学部、獣医学部、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。
(2)「学校基本調査」における「卒業生に占める就職者の割合」の定義について
①「卒業生に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。
(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。
- 主な学修成果(※3)
認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行ない、実践的かつ専門的な職業教育を実施することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。

委員会は次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や 授業方法の改善・工夫に生かす。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)その他、教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

また、より正確に業界における動向や求められる人材要件を把握するため、生徒の就職・実習先企業や業界団体、資格・検定団体等と関係性を高め、幅広く連携を図ることで、業界の求めるニーズを確実に捉え、本校のカリキュラムや授業内容に反映する。実習先である企業に対し、アンケート等を実施することにより、学生に不足する、あるいは必要とされる能力を把握する。これらのごとによって得た結果も、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会構成員は札幌プライダルアンドホテル観光専門学校と企業関係者等の役職者から成るものとし、審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意見を十分に活かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するのにふさわしい教育課程の編成を協力して行うものと位置付けている。

【教育課程編成の基本方針決め・前年の問題点抽出】

企業関係者等の外部委員より、専攻分野に関した動向や新たに必要となる人材スキル等の業界の実情をヒアリングし、委員会で協議をし、次年度の教育課程編成の基本方針を決める。さらに、前年度の問題点をピックアップし、企業関係者等の外部委員からの見識のある改善意見も集約する。

↓

【教育課程編成の科目詳細決め】

委員会構成員の中の札幌プライダルアンドホテル観光専門学校教員によって、各科目の詳細を決定し、また、集約した改善意見も教育課程に反映させ、次年度の教育課程の仮案を完成させる。

↓

【WB委員会(各プライダルアンドホテル観光専門学校代表教員による分野会議)にて、教育課程編成の決定】

委員会構成員の中の札幌プライダルアンドホテル観光専門学校教員による教育課程の仮案に基づいて、再度、WB委員会で協議をし、次年度の教育課程を決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年4月1日現在

| 名前 | 所属 | 任期 | 種別 |
|-------|---------------------|---------------------------|----|
| 林 一馬 | 全米プライダルコンサルタント協会 | 平成29年1月1日～平成30年12月31日(2年) | ① |
| 岩村 直貴 | 株式会社プライダルハウスチュチュ | 平成30年1月1日～平成30年12月31日(1年) | ③ |
| 木村 尚志 | JRタワーホテル日航札幌 | 平成29年1月1日～平成30年12月31日(2年) | ③ |
| 小高 政利 | 札幌プライダルアンドホテル観光専門学校 | | |
| 中村 純子 | 札幌プライダルアンドホテル観光専門学校 | | |
| 戸田 弥生 | 札幌プライダルアンドホテル観光専門学校 | | |
| 富永 一聖 | 札幌プライダルアンドホテル観光専門学校 | | |

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(7月、12月)

(開催日時(実績))

第1回 平成30年7月25日 17:00～18:00

第2回 平成30年12月19日 16:30～17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

現場では、SNSを使用し広告費をかけずに集客する営業戦略が活発化されていることから、学校でもSNSやWEBマーケティングを学べる授業を取り入れる等、時代に即した授業展開を求められた。いただいた意見を年3回実施の全教員が参加する全体会議で共有し、授業内容について振り返りや改善を行うことや、全教員対象に企業の方から講話いただくことで常に新しい情報を得られるように工夫している。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校の教育方針及び実習内容へ理解頂き、共に教育して下さる企業を選定している。また、実習の実施にあたり、技術指導に伴う有資格者が指導者として担当する体制をとること及び定期的な打ち合わせに協力可能な企業を選定している。
また、企業連携にあたっては短期的な契約ではなく、数年間継続する中で授業改善・提案ができることを条件としている。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

本校教員と授業担当で授業の方向性及び企業側が教えたい(伝えたい)ことを打ち合わせの上、年度方針を決める。
また、その方針をもとに企業が年間の授業計画を作成の上、本校教員が確認し、授業内容を決定する。授業終了後は定期的に授業の振り返りや改善点を打ち合わせ、次回の授業に活かしていく。企業は評価指標に沿って評価試験の作成及び採点・評価を実施し、生徒の学習状況について直接確認するとともに、授業担当者と情報交換を行う。
授業終了時には、授業担当者による生徒の学修成果の評価を踏まえ、担当教員が成績評価・単位認定を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

| 科目名 | 科目概要 | 連携企業等 |
|------------------|---|---------------------------------------|
| 着付け | 日本における美容文化である着付けの技術を学ぶことで卒業後の仕事の幅が広がり、活躍の場も増える。授業では技術はもとより礼節や所作などを現場の方から毎週継続して学ぶことで、接客スキルを向上させる。日本の美容文化への意識及び技術習得の必要性を認識し、向上心を養う。 | 小林豊子きもの学院株式会社 (着付免許:京都市のコンサルタント協会) |
| ブライダル ビジネスマナー | 敬語の使い方、履歴書の書き方やビジネス文書の書き方など、社会人としての考え方をはじめ、ルールやマナーを学ぶ。 | OFFICE YOSHIE |
| ホテル概論 I | ホテル業に対する正しい知識を持つことを目的とし、組織や業務の特徴とは何かなどといった基本知識の理解を深め、ホテル産業やホテルという業種に対する深い知識を学びます。 | JR北海道ホテルズ株式会社 JRタワーホテル日航札幌 |
| ベーシックヘアアレンジ | 一束やピンニング、ホットカーラーや編み込み等ヘアアレンジの基礎からベーシックなアップスタイルを学びます。 | 有限会社メイクアップアトリエ |
| ホテルセールス | セールスの基本となるコミュニケーションから、必要書類の作成など販売活動について幅広く学びます。また、実践を見据えロールプレイング等も取り入れた授業を展開します。 | 株式会社美美 |

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

実践的かつ専門的な職業教育を実施し、ブライダル業界・教育業界を担う「素直な心・感謝の気持ち・高い意欲を持ち続け、自ら考え自ら行動することで社会に貢献できる人材」・「最幸の結婚式を創り上げることを通じて、新郎新婦だけでなく、その家族、その人生も幸せにできるNO1のプランナー」を養成するためには、教員一人ひとりが常に業界ならびに実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけようという向上心がなければならない。そのために、以下のとおり教員研修の環境を整える。

- ・企業等から講師を招いた実践的かつ専門的な知識・技術・技能を修得するための研修
- ・指導力の修得・向上のための研修
- ・アクティブラーニングの手法を取り入れた教育方法の研修

なお、当該研修等を計画的に教員に受講させるにあたり諸規定に定められている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「ブライダル企業で求められる人材」(連携企業等: グローヴエンターテイメント株式会社)

期間: 10月18日(火) 対象: 全担任

内容: 業界の動向、求められる人材

研修名「フリープランナーとしてのやりがいや魅力」(連携企業等: Coco style WEDDING)

期間: 10月18日(火) 対象: 全担任

内容: 業界の動向、フリープランナーに求められる力

研修名「ブライダル業界の動向、欧米のトレンド」(連携企業等: 全米ブライダルコンサルタント協会)

期間: 2月14日(火) 対象: 全担任

内容: 業界の動向、欧米ウェディング、求められる人材

研修名「ホテルの現場で求められること」(連携企業等: ホテルモントレエーデルホフ札幌)

期間: 6月6日(火) 対象: 全担任

内容: 業界の動向、ホテルの特徴、求められる人材

研修名「ゲストハウスの現場で求められること」(連携企業等: マスダプランニング株式会社)

期間: 6月6日(火) 対象: 全担任

内容: 業界の動向、ゲストハウスの特徴、求められる人材

研修名「ブライダル業界の動向、欧米のトレンド」(連携企業等: 全米ブライダルコンサルタント協会)

期間: 7月2日(月) 対象: 全担任

内容: 業界の動向、欧米ウェディング、求められる人材

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「目標達成のためのあきらめない姿勢をどのように伝えるか」(連携企業等: 株式会社グローバルキャリア)

期間: 10月3日(月) 対象: 全担任

内容: 目標達成に必要なこと、あきらめない姿勢

研修名「就職活動のモチベーションアップについて」(連携企業等: 株式会社ベネッセアイキャリア)

期間: 10月17日(月) 対象: 全担任

内容: 就職活動の進め方やポイント、モチベーションアップ

研修名「感動は人を動かす」(連携企業等: 株式会社アビリティトレーニング)

期間: 3月31日(金) 対象: 全教員

内容: モチベーションアップ

研修名「就職指導におけるポイントについて」(連携企業等: 株式会社ベネッセアイキャリア)

期間: 5月17日(水) 対象: 全担任

内容: 履歴書や面接のポイント

研修名「ブライダルの今後と求められる人材」(連携企業等: ブライダル総研)

期間: 8月23日(水) 対象: 全教員

内容: 業界の動向、求められる人材

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「ブライダル企業で求められる人材」(連携企業等: グローヴエンターテイメント株式会社)

期間: 10月11日(水) 対象: 全担任

内容: 業界の動向、求められる人材

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「目標達成のためのあきらめない姿勢をどのように伝えるか」(連携企業等: 株式会社グローバルキャリア)

期間: 10月2日(月) 対象: 全担任

内容: 目標達成に必要なこと、あきらめない姿勢

研修名「就職活動のモチベーションアップについて」(連携企業等: 株式会社ベネッセアイキャリア)

期間: 10月10日(火) 対象: 全担任

内容: 就職活動の進め方やポイント、モチベーションアップ

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者として、ブライダル業界の企業様や卒業生・地域団体住民・高校関係者等と共に、学校関係者評価委員会を設置して、当該専門分野における実務に関する知見を活かして、教育目標や教育環境等について評価し、その結果を次年度の教育活動及び学校運営の改善の参考とする。

学校関係者評価は、「私立専門学校等評価研究機構 専門学校等評価基準」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。また、評価結果は学校のホームページで公表する。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの評価項目 | 学校が設定する評価項目 |
|----------------|----------------|
| (1) 教育理念・目標 | (1) 教育理念・目標 |
| (2) 学校運営 | (2) 学校運営 |
| (3) 教育活動 | (3) 教育活動 |
| (4) 学修成果 | (4) 学修成果 |
| (5) 学生支援 | (5) 学生支援 |
| (6) 教育環境 | (6) 教育環境 |
| (7) 学生の受入れ募集 | (7) 学生の受入れ募集 |
| (8) 財務 | (8) 財務 |
| (9) 法令等の遵守 | (9) 法令等の遵守 |
| (10) 社会貢献・地域貢献 | (10) 社会貢献・地域貢献 |
| (11) 国際交流 | |

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

【学校運営】WEB掲示板を活用した情報伝達を継続して発信している。

【教育活動】礼儀マナーやビジネスマナーについて、現場で対応できるレベルの指導を行っている。

【学習成果】卒業生同窓会サイトを立ち上げ、卒業生との連携を強化できるようになった。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年4月1日現在

| 名前 | 所属 | 任期 | 種別 |
|-------|-------------------|--------------------------|-------|
| 中村 宗人 | マスダプランニング株式会社 | 平成29年4月1日～平成30年3月31日(2年) | 企業等委員 |
| 林 秀美 | 有限会社メイクアップアトリエ | 平成29年4月1日～平成30年3月31日(2年) | 企業等委員 |
| 日置 千夏 | 共立メンテナンス株式会社 | 平成29年4月1日～平成30年3月31日(2年) | 企業等委員 |
| 澤腰 理絵 | グローヴェンターテイメント株式会社 | 平成29年4月1日～平成30年3月31日(2年) | 卒業生 |

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他() ()

URL: http://www.sanko.ac.jp/sapporo-bridal/pdf/kankeisyahyouka_sapporo.pdf

公表時期: 平成30年7月27日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取り組みに関するガイドライン」に則って情報提供を実施することで、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、教職員・生徒間、学校・家庭間の共通理解が深まり、教育活動の活性化や学校運営の円滑化につなげること。

また、入学希望者やその保護者に対し、進路選択にあたっての有用な情報を提供すると共に、一人一人の能力・適性にあった望ましい進路の実現に資すること。

そして、キャリア教育・職業教育をはじめとした教育活動の状況等について、業界関係者に情報提供することで、相互の対話が促され、実習、就職指導等企業等との連携による活動の充実や、業界等のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善につなげることを基本方針とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの項目 | 学校が設定する項目 |
|--------------------|--|
| (1) 学校の概要、目標及び計画 | ●三幸学園について(事業案内、経営理念、歴史) |
| (2) 各学科等の教育 | ●三幸学園の教育 ●学科・専攻紹介 ●資格・就職 |
| (3) 教職員 | ●講師紹介 |
| (4) キャリア教育・実践的職業教育 | ●学内実習 ●インターンシップ |
| (5) 様々な教育活動・教育環境 | ●施設紹介 ●企業・地域コラボレーション |
| (6) 学生の生活支援 | ●サポートシステム ●学生寮・一人暮らし |
| (7) 学生納付金・修学支援 | ●募集学科・学費 ●学費サポート制度 |
| (8) 学校の財務 | ●監事監査報告書 ●資金収支計算書 ●事業活動収支計算書 ●貸借対照表 ●財産目録 |
| (9) 学校評価 | ●自己点検自己評価・学校関係者評価委員報告書 |
| (10) 国際連携の状況 | |
| (11) その他 | |

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

①ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他() ()

URL: <http://www.sanko.ac.jp/disclosure/>

授業科目等の概要

| (商業実務専門課程ウェディングプランナー科) 平成30年度 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|------------------|------------------|--------------|---|-----------|--------------|-------------|--------|--------|--------------------------------------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業 時 数 | 単 位 数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
| 必 修 | 選 択 必 修 | 自 由 選 択 | | | | | | 講 義 | 演 習 | 実 験 ・ 実 習 ・ 実 技 | 校 内 | 校 外 | 専 任 | 兼 任 | |
| ○ | | | ブライダル知識Ⅰ | 婚礼の歴史や挙式・披露宴の基礎知識を学び、「アシスタントブライダルコーディネーター検定」取得を目指します。 | 1年 | 33 | 2 | ○ | | | ○ | ○ | | | |
| ○ | | | パーソナルカラー | ファッションコーディネートの現場で即戦力となるように、色に関する知識、法則、技法を理論的かつ実践的に身に付ける。 | 1年 | 33 | 2 | ○ | | | ○ | ○ | | | |
| ○ | | | ブライダルビジネスマナー | 敬語の使い方、履歴書の書き方やビジネス文書の書き方など、社会人としての考え方をはじめ、ルールやマナーを学ぶ。 | 1年 | 33 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | ○ | |
| | ○ | | ベーシックメイク | ベーシックメイク検定対策、基本的なメイクの手順、骨格や肌の構造等を学びフルメイクの基礎メイクテクニックを学びます。 | 1年 | 99 | 6 | △ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | |
| | ○ | | 営業ビジネススキル | 社会人基礎スキルの実践や接客における基本マナー、心をつかむ接客（実践中心）等を学ぶ。 | 1年 | 33 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| | ○ | | リーダーシップ論 | チームで成果を出すための理論や人をまとめる力、人を活かす方法論等（理論・ワーク）を学ぶ。 | 1年 | 66 | 4 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | パソコン演習 | 検定取得を目指し、基本的な入力方法から書類作成など、パソコンの技能を習得。ブライダル業界で必要なパワーポイントや案内状等の作成を学ぶ。 | 1年 | 66 | 4 | △ | ○ | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | ブライダルプロジェクトⅠ | 日頃の授業のアウトプットとして現場体験ができる行事を取り入れ、企画立案施行の全てが出来るようにする。 | 1年 | 66 | 4 | △ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | |
| ○ | | | 未来デザインプログラム | ビジネス書の「7つの習慣」を教材に使い、7つの項目を習慣化することにより成功する為の力を養う。 | 1年 | 33 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| 合計 | | | | 科目 | 単位時間(単位) | | | | | | | | | | |

| 卒業要件及び履修方法 | 授業期間等 | |
|------------|----------|---|
| | 1学年の学期区分 | 期 |
| | 1学期の授業期間 | 週 |

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

| (商業実務専門課程ウェディングプランナー科) 平成30年度 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|------------------|------------------|-------------------------|---|------------------|--------------|-------------|--------|--------|--------------------------------------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業 時 数 | 単 位 数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
| 必 修 | 選 択 必 修 | 自 由 選 択 | | | | | | 講 義 | 演 習 | 実 験 ・ 実 習 ・ 実 技 | 校 内 | 校 外 | 専 任 | 兼 任 | |
| ○ | | | パーティー プロデュース | 挙式・披露宴の進行やテーマウェディングの創り方などを学びます。全体の構成から演出、会場コーディネートまでトータルでプロデュースできる力を養います。 | 1 年 | 66 | 4 | △ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | |
| ○ | | | フラワー アレンジ | ウェディングに人気の花の種類・値段・ブーケ・装花のスタイルと作成技術を学ぶ。 | 1 年 前 期 | 48 | 3 | △ | ○ | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | ドレス デザイン | 『認定ドレスコーディネーター』検定の取得を目標にドレススタイリストに必要な技術・知識を学ぶ。 | 1 年 | 66 | 4 | ○ | △ | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | ホームルーム | 検定や行事等のスケジュール確認や伝達事項の確認を行う。 | 1 年 | 33 | | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | マーケティ ング | ブライダル業界の動向とお客様のニーズを研究・発表する。 | 1 年 前 期 | 16 | 1 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | プレゼン・コ ミュニケー ションI | 社会人になるにあたり必要なプレゼン能力・コミュニケーション能力を高める。 | 1 年 後 期 | 17 | 1 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | 空間 コーディネ ート | 会場・テーブルコーディネート・イメージ分類などブライダルデザインに繋がる知識や技術を学ぶ。 | 1 年 前 期 | 16 | 1 | ○ | △ | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | ブライダル セールス | 新規接客・アンケート記入・質問・顧客心理・館内案内・敬語等、設定した客層への対応方法を学びます。 | 1 年 | 33 | 2 | ○ | △ | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | ペン字 | 日常的な文字を綺麗に書く事により、履歴書をはじめ、書類を専門的な技術、知識をもって書けるようにする。 | 1 年 前 期 | 16 | 1 | △ | ○ | | ○ | | ○ | | |
| 合計 | | | | 科目 | 単位時間(単位) | | | | | | | | | | |

| 卒業要件及び履修方法 | 授業期間等 | | |
|------------|-------|----------|---|
| | | 1学年の学期区分 | 期 |
| | | 1学期の授業期間 | 週 |

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

| (商業実務専門課程ウェディングプランナー科) 平成30年度 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|------------------|------------------|------------------------|---|------------------|--------------|-------------|--------|--------|--------------------------------------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業 時 数 | 単 位 数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
| 必 修 | 選 択 必 修 | 自 由 選 択 | | | | | | 講 義 | 演 習 | 実 験 ・ 実 習 ・ 実 技 | 校 内 | 校 外 | 専 任 | 兼 任 | |
| ○ | | | ブライダル 演習Ⅰ | 挙式・披露宴の基礎知識、社会人に必要なビジネスマナーを学びます。また演習を通し、現場スタッフに必要な実践力を身に付けます。 | 1 年 前 期 | 64 | 4 | △ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| ○ | | | ブライダル 演習Ⅱ | 挙式・披露宴の基礎知識、社会人に必要なビジネスマナーを学びます。また演習を通し、現場スタッフに必要な実践力を身に付けます。 | 1 年 後 期 | 68 | 4 | △ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | ○ | | ブライダル プランナー検定 Ⅰ | 基本的な日米欧のブライダル市場の知識を学び、全米ブライダルコンサルタント協会が認定する「ブライダルプランナー検定2級」取得を目指します。 | 1 年 後 期 | 51 | 3 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| | ○ | | ブライダル アテンド | プランナー・キャプテン・介添え等の当日の動きと心構えを学び、具体的なアテンド方法をロールプレイングを通して学びます。 | 1 年 後 期 | 34 | 2 | △ | ○ | | ○ | | ○ | | |
| | ○ | | レストラン サービス検定 対策Ⅰ | 国家資格「レストランサービス技能検定3級」取得を目標に「おもてなしの心」を大切にした接客サービスのノウハウや料飲知識・法律を学びます。(学科試験対策) | 1 年 後 期 | 34 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| | ○ | | レストラン サービス演習 Ⅰ | ホテルで働く人のための国家資格「レストランサービス技能検定3級」取得を目標に、適切なサービスを行えるよう、しっかりとした技術を修得します。(実技試験対策) | 1 年 後 期 | 34 | 2 | | ○ | | ○ | | ○ | | |
| | ○ | | ホテル概論Ⅰ | ホテル業に対する正しい知識を持つことを目的とし、組織や業務の特徴等の基本知識の理解を深め、ホテル産業やホテルという業種に対する深い知識を学びます。 | 1 年 後 期 | 17 | 1 | | ○ | | ○ | | ○ | ○ | |
| ○ | | | ブライダル 知識Ⅱ | 婚礼の歴史や挙式・披露宴の基礎知識を学び、「アシスタントブライダルコーディネーター検定」取得を目指します。 | 2 年 | 50 | 3 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| | ○ | | ITスキル | 社会人としてのビジネスメールマナーを習得し、スムーズに業務を進めることのできるテクニックを習得できるようになる。 | 2 年 | 66 | 4 | △ | ○ | | ○ | | ○ | | |
| 合計 | | | | 科目 | 単位時間(単位) | | | | | | | | | | |

| 卒業要件及び履修方法 | 授業期間等 | |
|------------|----------|---|
| | 1学年の学期区分 | 期 |
| | 1学期の授業期間 | 週 |

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

| (商業実務専門課程ウェディングプランナー科) 平成30年度 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|------|------|-----------------|--|-----------|--------------|-------------|--------|--------|----------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業 時 数 | 単 位 数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講 義 | 演 習 | 実験・実習・実技 | 校 内 | 校 外 | 専 任 | 兼 任 | |
| ○ | | | ブライダルフェア企画・プレゼン | 現在のブライダル業界の動向・流行を踏まえ、各会場に合った企画の立案ができ、社内や新郎新婦へ向けての訴求力を高める技術を磨く。 | 2年 | 66 | 4 | ○ | △ | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | ブライダルプロジェクトⅡ | 日頃の授業のアウトプットとして現場体験ができる行事を取り入れ、企画立案施行の全てが出来るようにする。 | 2年 | 66 | 4 | △ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | |
| ○ | | | ベーシックヘアアレンジ | 一束やピンニング、ホットカーラーや編み込み等ヘアアレンジの基礎からベーシックなアップスタイルを学びます。 | 2年 | 66 | 4 | △ | ○ | | ○ | | ○ | ○ | |
| ○ | | | プレゼン・コミュニケーションⅡ | 社会人になるにあたり必要なプレゼン能力・コミュニケーション能力を高める。 | 2年前期 | 16 | 1 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | 着付け | 着物の基本的な着付・畳み方・帯などの名称を学び、着付検定3級の取得を目指す。 | 2年 | 66 | 4 | △ | ○ | | ○ | | ○ | ○ | |
| ○ | | | 映像・音響・照明 | プランナーとしての音響・照明・映像へのアプローチ方法や打ち合わせ方法など、それぞれのプロのテクニックを学ぶ。 | 2年後期 | 34 | 2 | △ | ○ | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | ブライダル演習Ⅲ | 業界で活躍する企業の方や卒業生から、業界の現状やトレンドを学ぶ。また、海外ウェディングの手配の流れや市場を理解し、ニーズに合わせたご提案ができるようになる。 | 2年 | 166 | 10 | ○ | △ | | ○ | | ○ | ○ | |
| ○ | | | ブライダルプランナー検定Ⅱ | 基本的な日米欧のブライダル市場の知識を学び、全米ブライダルコンサルタント協会が認定する「ブライダルプランナー検定1級」の取得を目指します。 | 2年前期 | 48 | 3 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | ハウスセールス | 接客の基礎知識やマナー、館内を案内する際の基本動作などをロールプレイングを通して学びます。また、顧客心理やコミュニケーションスキルについてもトレーニングします。 | 2年 | 66 | 4 | ○ | △ | | ○ | | ○ | ○ | |
| 合計 | | | | 科目 | 単位時間(単位) | | | | | | | | | | |

| 卒業要件及び履修方法 | 授業期間等 | |
|------------|----------|---|
| | 1学年の学期区分 | 期 |
| | 1学期の授業期間 | 週 |

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

| (商業実務専門課程ウェディングプランナー科) 平成30年度 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|------|------|----------------|--|-----------|--------------|-------------|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業 時 数 | 単 位 数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| | ○ | | オリジナルプランニング | 挙式演出やハウス会場をテーマにしたパーティ演出を学びます。お客様のオーダーに対して、適切なプランや演出をご提案できるように企画力を養います。 | 2年 | 66 | 4 | △ | ○ | | ○ | | ○ | | |
| | ○ | | パーティーサービス | 披露宴会場やパーティ会場で適切なサービスを行えるよう、ドリンク提供の仕方やサーバーの使い方、お料理の出し下げの仕方等の技術を習得します。 | 2年 | 66 | 4 | △ | ○ | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | | ホームルーム | 検定や行事等のスケジュール確認や伝達事項の確認を行う。 | 2年 | 33 | | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| | ○ | | ブライダルデザイン | 画像処理やデザインを習得し、オリジナルペーパーアイテムなどを制作する技術や会場のトータルコーディネートを学びます。 | 2年 | 66 | 4 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| | ○ | | レストランサービス検定対策Ⅱ | 国家資格「レストランサービス技能検定3級」取得を目標に「おもてなしの心」を大切にした接客サービスのノウハウや料飲知識・法律を学びます。(学科試験対策) | 2年前期 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| | ○ | | レストランサービス演習Ⅱ | ホテルで働く人のための国家資格「レストランサービス技能検定3級」取得を目標に、適切なサービスを行えるよう、しっかりとした技術を修得します。(実技試験対策) | 2年 | 66 | 4 | | ○ | | ○ | | | ○ | |
| | ○ | | ホテル概論Ⅱ | ホテル業に対する正しい知識を持つことを目的とし、組織や業務の特徴等の基本知識の理解を深め、ホテル産業やホテルという業種に対する深い知識を学びます。 | 2年前期 | 16 | 1 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| | ○ | | ホテルセールス | セールスの基本となるコミュニケーションから、必要書類の作成など販売活動について幅広く学びます。また、実践を見据えロールプレイング等も取り入れた授業を展開します。 | 2年 | 66 | 4 | ○ | △ | | ○ | | | ○ | ○ |
| | ○ | | ホテルプランニング | ホテル業界における正式な接客マナーやホスピタリティについて、実際の事例を参考に学ぶ。また、ホテルならではの演出や披露宴会場をまとめるプランナーの動きも学ぶ。 | 2年 | 66 | 4 | △ | ○ | | ○ | | ○ | | |
| 合計 | | | | 科目 | 単位時間(単位) | | | | | | | | | | |

| 卒業要件及び履修方法 | 授業期間等 | |
|------------|----------|---|
| | 1学年の学期区分 | 期 |
| | 1学期の授業期間 | 週 |

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

| (商業実務専門課程ウェディングプランナー科) 平成30年度 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|------|------|-------|---|---------|------|-----|-----------------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| | ○ | | 英会話 | 基本的なコミュニケーションはもちろん、実際のウェディングの現場で使うようなシーンを想定した英会話を、ゲームやロールプレイング等を通して楽しく身につけます。 | 2年 | 66 | 4 | △ | ○ | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | | 施設実習 | 現場での実習勤務を通して、1日及び1週間の流れを学び、お客様を迎えるまでの準備や施術中の役割の理解を深め、接客の基本姿勢を学んでいく。 | 2年後期 | 80 | 2 | | | ○ | | ○ | | | ○ |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | | 47科目 | | 2408単位時間(139単位) | | | | | | | |

| 卒業要件及び履修方法 | 授業期間等 | |
|---|----------|----------------|
| 【履修方法】 ●講義及び演習科目については15時間から30時間の授業をもって1単位とする。実習及び実技科目については30時間から45時間の授業をもって1単位とする。各科目授業内テスト(実技科目の評価方法は実技・筆記テストを原則実施)の100点満点での素点からの5点法による評定とし、「2」以上でその科目の履修と見なす。 【進級・卒業要件】 ●授業科目の履修を終了した者には、認定のうえ単位を与える。 単位の認定については、各科目における試験及び演習・実習の評価によるものとする。単位制学科の卒業認定に必要な単位数は62単位とする。 | 1学年の学期区分 | 2期 |
| | 1学期の授業期間 | 前期16週 後期17週 |

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。